

藤

倉



## サントリー芸術財団コンサート 作曲家の個展 2012

プレコンサート・トーク 18:20～  
(藤倉 大×パスカル・ガロワ)

大

「トカール・イ・ルチャール」オーケストラのための (2010)  
TOCAR Y LUCHAR FOR ORCHESTRA

バスーン協奏曲 (2012 / サントリー芸術財団委嘱作品・世界初演)  
BASSOON CONCERTO  
(COMMISSIONED BY SUNTORY FOUNDATION FOR ARTS / WORLD PREMIERE)

ミラーズ (2009/2012 / 12人のチェロ奏者版・改訂初演)  
MIRRORS (WORLD PREMIERE OF 12 CELLI VERSION)

アンペール —ピアノとオーケストラのための (2008)  
AMPERE - CONCERTO FOR PIANO AND ORCHESTRA

「アトム」オーケストラのための (2009)  
ATOM FOR ORCHESTRA

A profile of a composer

Dai

F U J I K U R A

指揮=下野竜也  
ATSUYA SHIMONO, CONDUCTOR

バスーン=パスカル・ガロワ  
PASCAL GALLOIS, BASSOON SOLO

ピアノ=小川典子  
NORIKO OGAWA, PIANO SOLO

管弦楽=東京都交響楽団  
TOKYO METROPOLITAN SYMPHONY ORCHESTRA

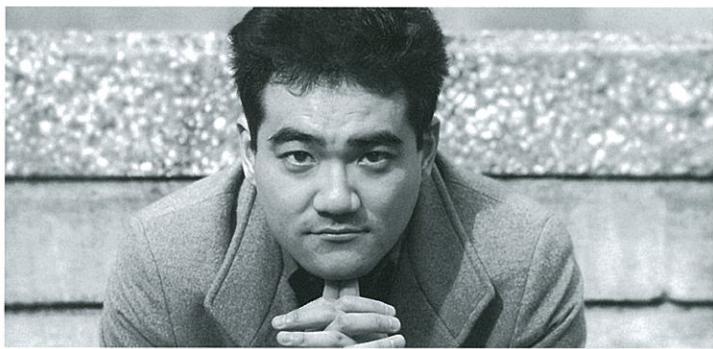
2012年  
10月11日(木) 19:00開演 (18:00開場)  
サントリーホール

■入場料 S席=4,000円 / A席=3,000円 / B席=2,000円 (全指定席 / 税込)  
■お問い合わせ・予約 東京コンサツ TEL.03-3226-9755 / FAX.03-3226-9882

■チケット取扱

サントリーホール・チケットセンター 0570-55-0017  
チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:168-339]  
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650  
e+ (イープラス) eplus.jp

主催=公益財団法人サントリー芸術財団  
協賛=サントリーホールディングス株式会社  
助成=芸術文化振興基金  
制作協力=東京コンサツ



## 藤倉 大 (ふじくら だい)

藤倉大は1977年大阪に生まれ、15歳で渡英し、ロックスバラ、ランズウィック、ベンジャミンに師事。これまでハダースフィールド国際音楽祭作曲家賞、ロイヤル・フィルハーモニック作曲賞、国際ウィーン作曲賞、パウル・ヒンデミット賞、第57回尾高賞および第19回芥川作曲賞、中島健蔵音楽賞、エクソンモービル音楽賞をはじめ、数々の著名な作曲賞を受賞している。

ロンドンでは、BBCプロムスから2つの委嘱を受けているほか、コントラバス協奏曲がロンドン・シンフォニエッタによって初演されている。また、フランスにおいても、多くの委嘱が行われ、中でも現在作曲中の初めてのオペラ作品(シャンゼリゼ劇場・ローザンヌ歌劇場・リール歌劇場による共同制作)はそれらの頂点と言える。これまでに共同作業を行った指揮者には、ブーレーズ、エトヴェシュ、ノット、ドゥダメル、リープライヒ、山田和樹らが挙げられる。国際的な共同委嘱がますます増えており、2012/13シーズンには、シアトル交響楽団、バンベルク交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団の共同委嘱による新作が、それぞれの大陸で初演される予定である。

2012年にはNMCレーベルより作品集のCDがリリース予定。

サントリー芸術財団コンサート  
作曲家の個展2012

F U J I K U R A

Dai  
A profile of a composer

### ■作曲家の個展について

サントリー芸術財団では、サントリー音楽賞の贈呈とその記念公演の開催に加え、「邦人作品の振興」を基本理念に、芥川作曲賞の贈呈、国際作曲委嘱、日本人作曲家の作品リストの出版、邦人作品を演奏するコンサートへの助成などの諸事業を行っています。「作曲家の個展」シリーズもその一環であり、毎年わが国のすぐれた作曲家1名を選び、その主要作品をまとめて紹介するコンサートで、これまでに29人の作曲家を取り上げ、好評を博してきました。第32回となる本年は、今もっとも国際的に活躍する若手作曲家の藤倉 大氏を取り上げます。イギリスを拠点に活動し、20代から多くの作曲賞を受賞、すでに多数の国々から作曲委嘱をうけている氏は、当シリーズにこれまでの最年少での登場です。指揮者には下野竜也氏、独奏にパスカル・ガロワ氏(バスーン)と小川典子氏(ピアノ)を迎え、東京都交響楽団の演奏で、委嘱新作・自身のセレクションによる近作などをお楽しみいただきます。日本で氏のオーケストラ作品をまとめて聴ける初めての機会です。ご期待ください。



下野竜也 (しもの たつや・指揮)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、01年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブルグ管、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、ローマ・サンタ・チエチーリア管、チェコフィルハーモニー、シュツットガルト放送響、カンヌPACA管、南西ドイツフィルなど国際舞台での活躍が目覚ましい。06年より読売日本交響楽団の初代正指揮者に迎えられ、新作初演にも取り組むなど意欲的な姿勢とプログラム構成には特に定評がある。

上野学園大学音楽学部教授。広島ウインドオーケストラ音楽監督。



パスカル・ガロワ (バスーン)

パリ音楽院でモーリス・アラール氏に師事。1981年ブーレーズの招聘でアンサンブル・コンテンポラリンにソリストとして参加。84年シュトックハウゼンのファゴット・ソロのための《In Freundschaft》、95年ベリオ《セクエンツァ XII》、ブーレーズ《二重の影の対話》のファゴット版、97年細川俊夫のファゴットとアンサンブルのための《Voyage II》、2000年望月京《Pas à Pas》をはじめ、膨大な作品を世界初演している。作曲家からの信頼も厚く、ガロワのために捧げられた作品も多い。Stradivariusより3枚のCDをリリースしている。



小川典子 (おがわ のりこ・ピアノ)

1987年リーズ国際コンクール入賞を機に、英国と日本を拠点とし、各国で主要オーケストラ・指揮者との共演、室内楽、リサイタル、コンクール審査、マスタークラス、音楽祭での企画・演奏など国際的で多彩な活動を展開している。邦人新作委嘱にも意欲を見せ、藤倉作品では「アンペール」を世界初演。ドビュッシー・ピアノ曲全集など25枚を超えるCDをリリースしている。ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザー、東京音楽大学客員教授、英ギルドホール音楽院教授。99年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞、06年川崎市文化賞受賞。

オフィシャルHP  
<http://www.norikoogawa.com/>